

# いわて生衛だより

編集・発行  
(財)岩手県生活衛生  
営業指導センター  
電話 019(624)6642  
FAX 019(654)2741

## 第22回岩手県生活衛生大会が盛大に開催



開会挨拶する坂大会長

### 主な内容

年頭のごあいさつ	2	時の話題	8
第22回岩手県生活衛生大会が盛大に開催	3	指導センターからのお知らせ	9
各種表彰者	3	日本政策金融公庫 国民生活事業から	10
組合だより	5～8		
すし業、中華料理、料理業、飲食業、喫茶飲食、食肉、 理容、美容業、興行、旅館ホテル、クリーニング			



## 年頭のごあいさつ

(財)岩手県生活衛生営業指導センター

理事長 坂 忠 昭

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様の御健康と御多幸を心よりお祝い申し上げます。

皆様には日頃から当指導センターの事業運営に深い御理解と御支援をいただきまして厚く御礼申し上げます。

さて、最近の景気動向調査によりますと、生活衛生関係営業の景況は、近年の世界的な金融危機の影響などを受け、依然として厳しい状況が続いております。

さらに、昨年6月の事業仕分け及び11月の再事業仕分け等におきまして、当指導センターの補助金が、「廃止」との評価が下されるなど、私ども当指導センターが昭和57年4月に設立して以来、最大の危機を迎えております。

この指導センター関係補助金につきましては、全国の90万人を超える皆様からの事業廃止反対の署名や、生衛法の趣旨に則り見直しが行われた結果、来年度予算概算要求が行われたところで

が、国の財政状況は厳しく、予算成立まで困難を極めることが予想されます。

私たちは、常に、生活衛生関係営業の経営の健全化と衛生水準の維持向上を通して、県民の皆様に、安全・安心なサービスの提供を行うという社会的使命の実現を目指し、当面の危機を打開して参る所存であります。

厳しい状況の中ではありますが、このような時にこそ各組合が一致結束し、業界の抱える課題や組合のあるべき姿を追究するとともに、さらなる経営の健全化と衛生水準の維持向上を目指し、消費者が満足し信頼されるような『安全・安心サービス』の提供を行っていくことが私どもの使命であると考えております。

県指導センターといたしましては、こうした実情を踏まえて、平成23年度も、将来の災害に備え、県や市町村との間で災害支援協定締結を推進することや、地区生活衛生営業組合連絡協議会の再生支援、更には生活衛生大会の開催など、組合活動が元気になる事業等に取組んでいきたいと思っています。

おわりに、本年が皆様方の新たな飛躍の年になりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます



## 年頭のごあいさつ

岩手県環境生活部長

松 川 求

新年あけましておめでとうございます。

生活衛生関係営業の皆様には、希望と期待に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から営業施設の衛生水準の向上、消費者サービスの充実や業界の健全発展に積極的に取り組んでおられますことに、深く敬意を表するところであります。

さて、生活衛生関係営業は、県民の日常生活に密着したサービスの提供を通じて、県民生活の向上と地域経済の活性化に重要な役割を果たしておりますが、近年の消費者・利用者の生活様式や価値観の多様化、企業収益の悪化や個人消費の落ち込みによる景気の停滞など、依然として厳しい経営環境の中にあるものと認識しております。

こうした中、生活衛生関係営業の皆様には、こ

れまでも増して組合が中心となり、組合員相互の連携強化と創意工夫を図りながら、安全・安心で、質の高いサービスを提供していただきますよう御期待申し上げます。

県では、昨年7月に、食品の安全性と食品に対する県民の信頼を確保し、県民の健康の保護に寄与することを目的として、「岩手県食の安全安心推進条例」を制定し、食品関連事業者、県民及び行政の三者がそれぞれの役割を果たし、相互に連携協力して食の安全安心の確保を推進していくこととしています。

また、昨年12月には『みんなの力で次代へ引き継ぐいわての「ゆたかさ」』を基本目標とする「岩手県環境基本計画」を策定し、私たちの暮らし方や社会のあり方を環境負荷の少ないものに転換していくこととしています。

このような施策を皆様方はじめ県民と協働して取り組んでいきたいと考えておりますので、御理解、御協力をお願いします。

結びに、業界のますますの御発展と本年が皆様方の新たな飛翔の年となりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

## 第22回岩手県生活衛生大会が盛大に開催された

平成22年11月8日(月)ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングに於いて、来賓及び多数の組合員の参加のもとに、第22回岩手県生活衛生大会が盛大に開催されました。

第一部は「喫煙の影響と今後の対策について」と題して、岩手県県央保健所所長六本木義光氏の基調講演を行ない、第二部の大会表彰では、環境衛生功労者(団体役員)15人と環境優良施設1施設への知事表彰状が宮舘副知事から手渡されました。

このほか、岩手県生活衛生同業組合中央会長表彰者の16人が表彰され、また、前生活衛生同業組合理事長を歴任した3人に対し、稲川中央会長より感謝状が贈られました。

この後、宮舘副知事等から祝辞があり、受賞者を代表して飲食業生活衛生同業組合の小笠原義彦氏より謝辞が述べられ、大会宣言を朗読して終了しました。

第三部では、各表彰受賞者を祝う祝賀会に160人の多数が参加し、受賞者を囲み、和やかな雰囲気の中、各組合相互の情報交換等活発に行われるなど、次年度の再会を願い余韻を残して幕を閉じました。



### 平成22年度各表彰受彰者の皆様 栄えある受彰おめでとうございます

平成22年10月26日(火)「ホテルニューオータニ」において、平成22年度生活衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰と全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰が行われ、次ぎの皆様が栄えある受賞をしました。

#### ◎厚生労働大臣表彰受彰者 (役職は4月1日現在です)



興行生衛組合  
副理事長  
高橋 利男氏  
(盛岡市)



理容生衛組合  
理事  
高成 吉見氏  
(紫波町)



美容業生衛組合  
副理事長  
多田 通氏  
(遠野市)



すし生衛組合  
副理事長  
中瀬 英典氏  
(一戸町)

#### ◎全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰受彰者



旅館ホテル生衛組合  
常務理事  
桑畑 博氏  
(久慈市)



料理業生衛組合  
理事  
菊地 瑠美子氏  
(盛岡市)



◎岩手県知事表彰（環境衛生功労者）



所属組合

- |      |           |     |            |        |           |
|------|-----------|-----|------------|--------|-----------|
| すし業  | 菊池俊一（遠野市） | 料理業 | 盛田彰（盛岡市）   | 美容業    | 深澤泉（北上市）  |
| 中華料理 | 菊池幸郎（一関市） | 飲食業 | 小笠原義彦（矢巾町） | 美容業    | 内村夕力（岩泉町） |
| 中華料理 | 大川忠（花巻市）  | 食肉  | 菊田豊助（釜石市）  | 興行     | 中西栄三（盛岡市） |
| 社交事業 | 下堀正人（二戸市） | 理容  | 及川清資（一関市）  | 旅館ホテル  | 高橋繁廣（北上市） |
| 料理業  | 前川茂（一関市）  | 理容  | 坂井孝夫（雫石町）  | クリーニング | 山本一見（盛岡市） |

◎岩手県知事表彰（環境衛生優良施設）

美容業 施設名 ビューティかわさき  
 営業者 川崎幸江  
 住所地 久慈市



◎岩手県生活衛生同業組合中央会長表彰（生活衛生功労者）



所属組合

- |      |             |     |             |        |            |
|------|-------------|-----|-------------|--------|------------|
| すし業  | 千葉久志（奥州市）   | 理容  | 及川紀昭（花巻市）   | 美容業    | 及川洋子（奥州市）  |
| 中華料理 | 佐藤勝義（一関市）   | 理容  | 村田一夫（花巻市）   | 美容業    | 府金ユキ子（岩手町） |
| 社交事業 | 高橋一二三（金ヶ崎町） | 理容  | 清水康雄（大船渡市）  | 旅館ホテル  | 中野崎邦宏（盛岡市） |
| 料理業  | 蒔田和典（奥州市）   | 理容  | 福田勝（一戸町）    | クリーニング | 似鳥博信（盛岡市）  |
| 飲食業  | 横田博安（山田町）   | 美容業 | 佐々木美衣子（宮古市） |        |            |
| 食肉   | 横沢盛悦（八幡平市）  | 美容業 | 小瀬川志津子（花巻市） |        |            |

◎岩手県生活衛生同業組合中央会長感謝状

前岩手県料理業生活衛生同業組合理事長 田中紀雄（盛岡市）  
 前岩手県飲食業生活衛生同業組合理事長 渡邊史朗（盛岡市）  
 前岩手県クリーニング生活衛生同業組合理事長 小原光雄（北上市）



# 組合だより



## 「縄文からの貝塚の国」

これから先の世界は食料不足になるかも知れません。私達の住む岩手県は過去のひもじさを先人の知恵と努力により克服し、全国でも数少ない自給の地となりました。

日本の風土に適した主食はコメ。小麦や、とうもろこしのように輸入に頼らなくても良いのです。

先人の労苦あいまって、うに、あわび、鮭、ワカメなど海や山里の地産食材が生まれ、風と土と人の結晶が命をつなぐ食となり、次世代に伝え紡ぎたい伝統食となります。

高温多湿の国のモンスーンに位置する「貝塚の国・日本」は、「鮭の国」でもあります。

1000年の時を経ても不変のカタチが「鮭」であり、「いわて三陸・すし三味 雅」は、まさに食の文化遺産となるでしょう。



## 組合レクリエーション大会を開催



各支部持ち回りで開催しているレクリエーション大会を、三陸海岸の山田町オランダ島（無人島）で開催しました。

当日は天候にも恵まれ、強い日差しのなか、何艘かの小型船に分かれて乗り込み無人島のオランダ島に上陸し、山田支部の皆さんが用意した、バーベキューや三陸牡蠣の蒸し焼きや、海水で茹でたジャガイモを、各種の冷えた飲み物で喉を潤しながら美味しくいただきました。

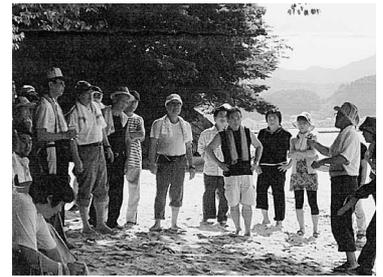
メインのレクリエーション大会では、山田町観光協会様のご協力により年齢に応じたゲームを企画して頂きました。



参加者は歓声と爆笑で今日一日は商売のことを

忘れてリフレッシュ出来ました。

次回は花巻支部主管で行う予定です。ぜひ、皆さんに参加してもらい楽しみたいと思います。



## 「第49回全料連東北ブロック青森大会」

平成22年11月15日(月)青森県青森市「日本料理 百代」に於いて「第49回全料連東北ブロック協議会青森大会・懇親会」が開催されました。

平成22年度定期総会、次年度開催地「宮城県」選定の後、全料連藤野会長、吉村事務局長から全料連平成22年度事業「泊食分離推進事業(料亭/料理店の食事をメインにした泊食分離事業)」「クレジットカード手数料の見直し」「ぐるなび・食の体験ギフト券」についての説明、報告がされました。

また、「平成23年第99回全料連大阪大会(平成23年7月2日(土)・3日(日)大阪市)」の開催案内と多数参加の要請がありました。

懇親会は地元会員も含め31人出席のもとに開催され、「津軽三味線」鑑賞のあと、組合員のみのおおきに語り合い有意義な大会となりました。



## 「第一回盛岡お月見はしご酒祭り」大盛況で終了!

11月16日(火)「第一回盛岡お月見はしご酒祭り」を開催し、加盟店157店舗、参加人数2,320余名のもと、大盛況のうちに無事終了いたしました。

これもひとえに日頃から飲食業界を支えて頂いている皆様のご協力のおかげと厚く御礼申し上げます。また、



多数の生活衛生同業組合の皆様方にもご協賛を頂きまして大変お世話になりました。

今回のイベントのアンケート結果は、おおむね良好でしたが、更なる改善点もご指摘をいただきましたので、次回開催の貴重なご意見として活かしたいと存じます。

参加店の皆様、ご協賛各社様、マスコミ各社、チケット販売、会場運営ボランティアの皆さん並びに岩手県生活衛生営業指導センターには、本当にお世話になりました。

また、来年に向けて、お客様が喜び、盛岡の街が賑やかになるよう企画していきます。



### コーヒー男子??!!

新年あけましておめでとうございます。

昨年より東京・関西では、「コーヒー男子」なる若手男子が人気を集めています。東京、関西では少し形が違いますが、コーヒー1杯に注ぐ熱い情熱に連日お客様が押し寄せるとか。今どきのスタイルかもしれませんが、若手も頑張っています。

さて、昨年11月に開催された、「第1回盛岡お月見ハシゴ酒祭り」は2,300人を超す参加者で、当組合からも数店舗参加し、大盛況のうち終了しました。まずは、開催にあたり、運営された方々に感謝申し上げます。

今年の6月23日には、第56回全喫飲連全国大会が、松島、青葉城跡、鳴子温泉など多数の観光スポットを有する、宮城県の「南三陸ホテル観洋」にて開催予定となっております。ぜひ、ご家族やご夫婦でご参加してみたいはいかがでしょうか。



### 年頭ご挨拶 「大きな飛躍の年となることを期待して」

岩手県食肉生活衛生同業組合  
理事長 梅木宗雄

新年明けましておめでとうございます。

生活衛生同業関係の皆様には、心新たな希望の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

近年の経済動向は、リーマンショック以来の世界同時不況から脱却できないでいます。

本県の食肉生活衛生営業関係においても販売低迷が続く事業経営維持に苦慮している中で、更に昨年は、宮崎県の口蹄疫や島根県の鳥インフルエンザといった家畜伝染病の発生も販売低迷に追打

ちをかけた。

このような中で、うさぎ年となる新年を迎え、干支のように大きな飛躍の年となることを期待しております。

当組合は、これまでも増して組合員相互の連携や情報を強化し、消費者の多様化する食生活のニーズに応える新たなメニュー開発や衛生水準の向上、適正食肉表示等の情報提供を積極的に推進してまいります。

また、快適な県民生活向上と地域経済の活性化に各生活衛生同業組合員の皆様と共同歩調を取り景気低迷に立ち向かってまいる所存でございます。

結びに、今年一年、生活衛生営業関係の皆様の益々のご繁盛とご健勝を心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。



### 「平成22年度県南ブロック会議」 北上さくらホールにて開催!

平成22年度県南ブロック会議（北上支部主催）が11月15日（月）に北上市さくらホール（中ホール）にて開催されました。

会議は、第1部意見交換会、第2部共催加入促進の2部構成で行いました。第1部の意見交換会は、県南6支部45名から寄せられたアンケート結果に基づき意見交換を行ないました。指導センター尾形専務の司会による「出張理容に関する今後の方向性」に関する議題では、県くらしの安全課の清川主査からの「出張理容に関する衛生管理指導要綱」の内容説明を受けた後、各支部の実態を支部長等からの報告をもとに、会場の皆様との意見交換もあり、問題点について活発な意見交換が行われました。

各支部でケア理容師の数にはばらつきがあることや、取り組みにも濃淡があること。また、介護施設でもケア理容師制度を承知していない施設もあることから、今後、支部毎にケア理容師制度や訪問理容に伴う衛生面の管理の重要性などを介護施設へ働きかけを行うこと。これまで以上に行政との連携を図ることなどを確認し、中部保健所赤沼環境衛生課長からも賛同の意見をいただき意見集約とな



りました。

第2部は共催加入促進で、全理連事務局から説明をいただき、午後1時半からは、ホテルシティプラザ北上へ会場を移して、来賓、パネリスト、保険会社の皆様を交えての親睦を図る懇親会となり、おおいに盛り上がりました。



## 岩手女子高校で出前授業を実施

平成22年12月6日(月)に後継者育成支援事業の一環として、岩手女子高校に於いて、昨年に引き続き1年生81名を対象として出前授業を実施致しました。

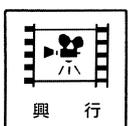
この支援事業は、昨今の就職難が叫ばれているなか、県民の暮らしに身近な存在である美容業を高校生に紹介することにより、美容業への就業を促進し、後継者の育成・確保を図ることを目的として実施しました。



出前授業の内容は、美容業の現況等の紹介や、美容カットブロー、パーティヘア実演と技術解説、中振袖着付け、洋装ブライダル、花嫁着付けの実演やモデルウォーキングのほか、今年度は新たな試みとして、生徒による美容技術体験などを行いました。

ヘアカットの体験をした生徒の一人は、「本格的に髪を切ったのは初めてでいい経験になった。難しいところもあったが夢が膨らんだ」と満足していました。

当日実施したアンケート調査結果のなかで、出前授業を受けての進路に対する問に対しては、「美容師になる」2名(3%)、「美容師に興味を持った」66名(81%)「その他」13名(16%)です。この傾向は、昨年出前授業とほぼ同様の傾向を示しており、今後の美容業PRの重要性を知らされた出前授業となりました。



## 豪華な12人のゲストが参加！ 「もりおか映画祭2010」開催 地元密着型としてますます定着！

10月22日(金)～24日(日)の3日間「もりおか映画祭2010」が盛岡市内の映画館を中心に開

催された。期間中に12人のゲストが各々舞台挨拶に参加して下さり、映画鑑賞に来た映画ファンにとっては、この上ないプレゼントとなった。

また、映画祭プレイベントとして「スープオペラ」の上映もあり、忙しいなか藤竜也さんも駆けつけて頂いた。

今年の映画祭は岡本喜八監督の作品に焦点を当て、婦人の岡本みね子さんに、4本すべての舞台挨拶をお願いできたのも大きな収穫と言える。

中でも最初に上映された「大誘拐」には岸部一徳さん、嶋田久作さんも参加頂き、3名でのトーク、撮影時の秘話等が披露され、映画の作り手と見る側との一体感が生まれ映画祭に相応しい瞬間であった。



オープニング上映は「行きずりの街」で脚本の丸山昇一さん、クロージング上映は「ゲゲゲの女房」の鈴木卓爾監督、「遠野物語」は村野鉄太郎監督と脚本の高山由紀子さん、5年ぶりの上映となった「オボエテイル」は原作の高橋克彦氏、明石知幸監督とそれぞれの作品前の舞台挨拶があり映画ファンを大いに魅了した。



## 『人に優しい地域の宿づくり』 活動、情報を募集中

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会では、各都道府県組合との共催、厚生労働省の後援により第14回『人に優しい地域の宿づくり賞』事業を実施中で、皆様からのエントリーを募集しております。

この賞は、地域の旅館・ホテル(個人参加可)や旅館ホテル組合が参加又は主催する活動で、高齢者等をはじめ、全ての人々に優しい配慮がなされており、地元の団体やボランティアグループ等が協力して行う、特性を生かした活動(温泉、料理、まちづくり等)、歴史・文化の振興(イベント、祭り等)、環境づくりの推進(緑化、清掃、リサイクル等)、スポーツの振興、福祉の充実(健康、設備、ボランティア等)などのジャンルを対象とし、その応募の中から「厚生労働大臣賞」、「全旅連会長賞」をはじめ名誉となる賞が贈られます。

エントリーの締切りは、平成23年3月末日ですので、皆様よりの応募（自薦、他薦を問いません）、情報提供をお待ちしております。

—お問合せ等については、県組合事務局まで—



### 「クレマー解決策講演会」を開催

当クリーニング組合では、今年度、「生活衛生振興助成費等補助金」を活用してクレーム防止総合対策マニュアル策定普及事業を実施することとなりました。

その事業の一環として全国で活躍している㈱エングシステム 援川聡氏による「プロが教える！困ったクレマー解決策講演会」を平成22年10月10日（日）、サンセール盛岡にて開催いたしました。

援川氏は警察官から大手流通業に転職した経歴を持ち、企業のトラブルや悪質なハードクレーム対応にあたり、悪質クレーム処理の専門家として認知され、会社を設立した経歴を持っている方です。

講演会では、お客様をモンスターに変身させる店側の行為やクレームの種類、対応について実例をあげてわかりやすく説明していただきました。

参加者は熱心にメモを取り、「日頃の心構えを肝に銘じ、講演内容を無駄にしないよう仕事をしていきたいと思う。」と感想がありました。



### 時の話題

酒は飲むとも飲まるるな

中小企業診断士 宮 健

#### 市川海老蔵よ、おごるな！

梨園のプリンスとも言われる歌舞伎俳優の市川海老蔵さん（33歳）が酒のうえのご乱行で、顔に大けがをしたことが大きな話題になっています。テレビや新聞・週刊誌などにも大きく取り上げられています。事の真相はまだよくわかりませんが、なんともお粗末というか、情けない話です。

もともと酒癖が悪かったとか、私生活の面ではこれまでもいろいろとあったようです。世間の注視の中に身を置く立場としての自覚が足りなかったのかなと思います。まさに「あってはならないこと」です。父親の団十郎さんが記者会見で、「人間修行が足りない」と嘆いていた姿を、とても痛々しく感じました。

#### 酒に関する「格言」

あらためて「酒」に関する格言を見ると、表題の「酒は飲むとも飲まるるな」をはじめ、「酒は諸悪の基」「酒は気違い水」「酒極まって乱となる」などいろいろあります。一方、「酒は百薬の長」とも言われますが、それをもじって、「酒は百毒の長」

という警句もあります。いずれにしても、飲み過ぎには注意しなければなりません。

- わたしはもともとアルコールに弱い体質です。
- いつも自分の許容限度をわきまえているので、これまで酒の上での失敗はありません。年相応に体調に気をつけていることもあり、数年前から家ではほとんど口にしなくなりました。
- 逆に、酒の席でからまれたり、嫌な思いをしたことは何度かあります。温泉ホテルで、ある業界のセミナーが開催され、講師を担当したときのことです。セミナーのあとの懇親会も終わり、二次会でたまたま隣に座った人がだいぶ酔っていて、いわゆる「くだを巻かれて」閉口したこともあります。

#### 謙虚だった石原裕次郎

- もう一度海老蔵さんに話を戻すと、役者としても絶頂期にあり、私生活の面でも美しい伴侶を得て、有頂天になっていたのではないのでしょうか。いくら周りからちやほやされても、決して謙虚な気持ちを忘れてはいけないと思います。

かつて青春映画で一世を風靡した石原裕次郎は、「こんなうまい話がいつまでも続くわけがない」と、いつも謙虚な気持ちを持ち続けていたそうです。この話は「人を動かす『名言・逸話』大集成」（鈴木健二・篠沢秀夫監修、1983年、講談社刊）からの引用です。

亡くなって23年以上経った今でも、多くのファンからその人柄が愛され続けているゆえんです。

● 指導センターからのお知らせ ●

◆ 平成22年度後継者育成支援事業の実施状況 ◆

昨今の就職難が叫ばれているなか、県民の暮らしに身近な存在である生活衛生営業（生衛業）高校生に紹介することにより、生衛業への就業を促進し、後継者の育成・確保を図ることを目的として、今年度も後継者育成事業を展開しています。

現在までに実施した事業は次のとおりです。

1 モデル事業の実施

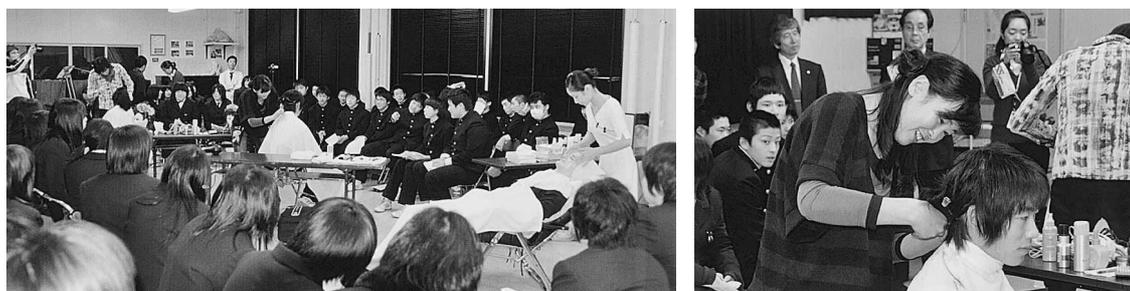
(1) 理容生活衛生同業組合

今年度も昨年同様に、高校に出向く出前授業を実施。現在までに実施した事業は次のとおりです。

開催日	開催場所	参加者数
9月13日	岩手県立西和賀高等学校	53人 (対象：2・3年生)
12月6日	岩手県立住田高等学校	69人 (対象：1年生)



岩手県立西和賀高等学校での出前授業風景



岩手県立住田高等学校での出前授業風景

(2) 美容業生活衛生同業組合

今年度も昨年に引き続き、岩手女子高校に出向く出前授業を実施。

開催日	開催場所	参加者数
12月6日	岩手女子高等学校	81人 (対象：1年生)



岩手女子高等学校での出前授業風景

# 日本政策金融公庫 国民生活事業から

組合員のみなさまへ融資制度のご案内 (利率は平成22年12月9日現在)

## 1 生活衛生貸付

(『振興貸付』及び『生衛セーフティネット貸付』)

ご利用にあたっては、振興計画認定組合の長が発行する「振興事業に係る資金証明書」が必要となります。

融資制度	振興事業貸付		生衛セーフティネット貸付	
			経営環境変化資金	金融環境変化資金
ご利用いただける方	振興計画認定組合の組合員		振興計画認定組合の組合員	
お使いみち	設備資金	運転資金	運転資金	
ご融資額	1億5,000～7億2,000万円以内	5,700万円以内	5,700万円以内	別枠 4,000万円以内
ご返済期間	18年以内 (特別な場合20年以内)	5年以内 (特に必要な場合7年以内)	5年以内 (特に必要な場合8年以内)	
利率(年利)	[特利C] 1.35%～  事業計画提出者 [特利D] 1.10%～  (一部基準利率) 2.25%～	(基準利率) 2.25%～  事業計画提出者または 標準営業約款登録者 [特利A] 1.85%～  標準営業約款登録者で 事業計画提出者 [特利B] 1.60%～	[基準利率] 2.25%～ 次に掲げる要件に該当するものについては、それぞれに定める利率とする。 1. 雇用の維持または拡大を図る場合 [特利G] 2.05%～ 2. 売上減少等一定の要件を満たす場合 [特利N] 1.95%～ 3. 前1及び2のいずれの要件も満たす場合 [特利R] 1.75%～	

- (注) 1 利率は、毎月見直されます。  
 2 ご返済期間またはお使いみちなどによって利率が変わります。また、第三者保証人を不要とする融資をご利用の場合は利率の上乗せがあります。  
 3 ご融資額は業種によって異なります。

## 2 『生活衛生改善貸付』

常時使用する従業員数が5人以下の会社又は個人の方が対象となります。

融資制度	生活衛生改善貸付	
ご利用いただける方	生活衛生関係の事業を営む小規模事業者の方であって、生活衛生同業組合等から経営指導を受けている方	
お使いみち	設備資金	運転資金
ご融資額	1,500万円以内(注)	
ご返済期間	10年以内(注)	7年以内(注)
利率(年利)	[特利F] 1.95%	
担保・保証人	無担保かつ無保証人	
その他	生活衛生同業組合等の推薦が必要になります。	

(注) 平成23年3月31日までの適用となります。

## 3 『設備資金貸付利率特例制度』

対象となる融資制度	1 生活衛生貸付 2 生活衛生改善貸付
お使いみち	設備資金のみ
利率(年利)	(融資後2年間) 適用した融資制度に定める利率から0.5%を低減した利率 (融資後2年経過後) 各融資制度に定める利率
取扱期間	平成23年3月31日まで

《お問い合わせは》

# 日本政策金融公庫 国民生活事業

盛岡支店 019-623-4376  
 一関支店 0191-23-4157  
 八戸支店 0178-22-6274